

# 両下肢義足使用者の最大許可身長(MASH) 算出方法の変更に伴うステータス変更について

両側下肢に義足を装着し競技する選手については、義足装着下での最大許可身長 (MASH) が「IPC Athletics Classification Rules & Regulations」にて定められています。

このたび World Para Athletics より**最大許可身長 (MASH) の算出方法が 2017 シーズンから変更**となったため、**最大許可身長 (MASH) の再計算が必要**となりましたので該当選手のクラスステータスを以下の通り取り扱うことが通達されました。

## <該当選手について>

- 1) クラス T / F 4 2 および T / F 4 3 かつ
- 2) 両側下肢に義足を使用して競技する選手

## <該当者に対する処置>

World Para Athletics Classification Master List において、2016 年までクラスステータス Confirmed (C) であった者は、自動的にクラスステータスが Review (R) に変更されクラス分け対象者となる。(したがって 2017 年 IPC 登録時に MDF の提出が必要です)

国内クラス分け実施済み者についても、クラス分け対象者として再度国内クラス分けを実施する。

表 1 新しい両下肢義足使用者の最大許可身長 (MASH) の算出方法 (概要)

### ① 両下腿切断の選手の場合

$$\text{男性} = -5.272 + (0.998 \times \text{座高}) + (0.855 \times \text{大腿長}) + (0.882 \times \text{上腕長}) + (0.820 \times \text{前腕長}) + 1.91$$

$$\text{女性} = -0.126 + (1.022 \times \text{座高}) + (0.698 \times \text{大腿長}) + (0.899 \times \text{上腕長}) + (0.779 \times \text{前腕長}) + 1.73$$

### ② 両大腿切断の選手の場合

$$\text{男性} = -5.857 + (1.116 \times \text{座高}) + (1.435 \times \text{上腕長}) + (1.189 \times \text{前腕長}) + 2.62$$

$$\text{女性} = -4.102 + (0.509 \times \text{翼幅}) + 0.966 \times \text{座高} + 2.14$$

### ③ 上述の計算式に当てはめることのできない複雑な先天性奇形を持つ選手の場合

「Stature Estimation from Body Segment Lengths in Young Adults-Application to People with Physical Disabilities-」(Alicia Canda, 2009) に掲載されている Table4 (男性用)、Table5 (女性用) に示された計算式の中で適応できる最も高い R2 を示す計算式を用いる。求められた値に PE の値を加えたものを MASH とする。

### ④ 計測可能な上肢のない先天性奇形を併せ持つ場合、以下の計算式を基準とする。

$$\text{男性} = \text{座高} / 0.52$$

$$\text{女性} = \text{座高} / 0.533$$

### ⑤ 片大腿切断と片下腿切断もしくは同等の先天性奇形を持つ場合

健側の大腿長をもとに①両下腿切断の選手の場合の公式を使用し算出する。

※詳細については、クラス分け委員会までお問い合わせください